

教育センターだより

令和5年度 第2号

黒部市教育センター

黒部の先生方、子供たちへ～令和5年度学校訪問研修会を終えて～

黒部市教育委員の座談会より

学校訪問研修会には黒部市教育委員会教育委員が参観されています。

そこで、今回は、紙谷教育長職務代理者、浅野教育委員、吉澤教育委員、濱田教育委員の4名に学校訪問研修を終えて、先生方、子供たちに向けての思いを語っていただきました。



子供たちの様子と学校・家庭の役割

子供たちを見ていると、こちらがエネルギーをもらうくらい生き生きしていますし、思った以上に好奇心があるなあと感じます。可能性のある子供たちなので、先生たちには、子供たちの芽を摘ませないように、よい特性を引き出すためのきっかけをあげてほしいと思っています。普段から先生方も心掛けていらっしゃると思いますが、「それ、いいね！」と一言でも子供たちのよいところをキャッチしてあげる機会が増えればよいと思います。

勉強、運動、美術、音楽等の成果だけでなく、目には簡単に見えない「よいところ」が全ての子供たちに備わっています。十人十色、一人一人違い、多様な背景をもっています。それぞれの子供に合った支援、対応を必要としています。全ての子供たちが学ぶことができるような環境をつくってほしいです。それには学校だけでなく、支える家庭のサポートが大切だと思っています。保護者や先生たちが、子供たちの可能性を信じて接することで、その熱意が子供たちへと伝わり、社会で活躍できる芽が育まれるのではと感じます。

社会に出たときに必要なことを考えたい

いろんな教科の学習を通して「社会に出た時、何ができるといいのだろうか」と常に考えています。「教育という大きな枠として見たときに何が必要なのか。集団として同じ方向を向けるようなトレーニングなのだろうか。個々の力を伸ばすことなのだろうか。全てを通して教育として必要なものは何だろう。」と考えています。一人一人が自立していける力を身に付けさせてあげるのが根本だと思うのですが、いかにして自立していくか、才能や特性をどうやって伸ばしていけばいいか考えていきたいです。やはりそれには、学校、家庭、地域、教師それぞれに役割があると思いますが、大きく影響を与えるのは、学びを教える教師で学校だと思っています。

学校は何より社会のコミュニティで、多様性のあるいろんな子供が集まります。学校に集

まること自体が勉強になると思います。「何でこんなに価値観が違うのだろう」って思いますが、それを学ぶことが大事なのではないでしょうか。

先生、楽しくできていますか？

真面目に考えると先生の役割はすごく重要です。なりたいたいと思って就いた職業だと思えますが、先生たちも楽しくやれているのかなということを心配して見えています。「保護者や上司とうまくやっているのかな。訪問研修だから緊張しているな。この先生は自分が出せているのかな」など・・・楽しく授業している先生は見ているとすぐに分かります。子供たちにとって学ぶ環境が大切です。先生は、「この部分をこの時間までに教えなくてはいけない」など、自分に課せられたことに深く入りすぎるとよくないのかなと思います。それよりも子供たちの「もっと知りたい、もっと教えて」という気持ちを引き出せたら十分だと思います。

それに、子供が楽しいと感じるには、先生が楽しく授業を進めないといけません。面白おかしいのではなく、厳しくても授業を終えた後に子供たちが達成感を感じられるような授業を期待しています。

先生、心を元気に！

「こうしなくてはいけない、ねらいに沿って進めないといけない、間に合わないかも」と先生を追い込んでしまう状態になると、子供と先生との距離ができることもあるのではないのでしょうか。先生も自宅と学校の往復だけでなく、時には自分の好きなことを思いっきり楽しんだり、家族と触れ合ったり、心に余裕をもってほしいです。そういう時間をとりつつ、教材研究にも時間を割いてほしいです。「教師は授業で勝負する」と言われます。十分教材研究してあれば、自信をもって楽しく授業を進めることができると思います。

そして、今は「休んでもいいよ。無理はしちゃいけないよ」という世の中です。大人がメンタルしっかりしていないと、子供に影響します。だからこそ楽に構えてほしいです。

人は失敗を経験して成長する

子供のうちに小さい失敗をする経験をいっぱいしてほしいです。子供はまだできあがっていません。子供のうちに失敗をしておく、きっと大人になって生かします。今の子供たちに失敗することの素晴らしさを伝えてほしいと思います。チャレンジしての失敗は失敗ではないということを伝えてほしいです。

一方で、先生方も真面目で失敗したことがない人も多いのではないのでしょうか。学校に勤めて初めてうまくいかない経験をされた方もいるのではないのでしょうか。失敗してもいいのです。若い先生方は失敗しても仲間が受け入れてくれると思ってください。会社でも、社員には「何か失敗しても一人で責任をとるんじゃないよ、会社として対応するから背負わなくていいよ」と言ってあります。とがめられると何もできなくなってしまいますから、学校でも、子供も先生も見守ってもらえる環境の中で「失敗しても大丈夫、みんな受け入れてくれるから」という思いをもってほしいです。

教育長がおっしゃっておられたように「60歳からが大人、それ以外は若者です」から。



令和5年度 新規採用教員の紹介

「感謝の気持ちを忘れずに」 たかせ小学校 教諭 川渕 絢音



着任して早半年がたちました。この半年間、子供たちとの関わりの中でたくさんの驚きや楽しさを感じて元気をいっぱいもらいました。時には悩んだりすることもありましたが、子供たちのキラキラな笑顔と、先輩方の豊かな経験を基にした的確なアドバイスのお陰で乗り越えることができました。これからも周りの人への感謝の気持ちを忘れず、笑顔いっぱいの「たかせの子」とともに、日々成長していきたいと思えます。

「周りの先生に支えられながら」 たかせ小学校 教諭 廣島 裕也



たかせ小学校に着任して、気付けば半年が経過していました。この半年間、自分の学級や分掌をフォローしていただいたり、分からないことは丁寧に教えていただいたりしました。ここまで元気に働いてこられたのは、周りの先輩方に支えていただいたおかげです。これからは、たかせ小の力となれるよう頑張ります。

「子供たちとの毎日の中で」 石田小学校 教諭 木村 日奈



あっという間の毎日で、気付けば2学期も終わりに近付いてきました。新しいことの連続で、日々奮闘しながら過ごしています。子供たちにとって私は先生ですが、私にとって子供たちは先生でもあります。素直な子供たちの姿から自分の授業や指導を振り返っては、悩み反省する日々です。これからも、元気いっぱい子供たちと一緒に挑戦を続けながら、ともに成長していきたいと思えます。

「黒部市での毎日」 村椿小学校 教諭 小西 智之



以前は奈良県にて8年間教員をしておりました。村椿小学校は、児童数100名余りの小規模校のため、学年の垣根を越えた児童のつながりが生まれやすく、また、教員にとっても自分が担当する学年以外の児童ともつながることがとてもよいところであると感じています。最近の楽しみは子供たちと休み時間にサッカーをすることです。子供たちに負けないくらい元気な先生として、日々精進していきたいです。

「全力疾走」

中央小学校 教諭 石田 凌一



教員としての約 8 か月、長いようであっという間でした。毎日が新しいことの連続で、挫けそうになったこともありました。それでも、毎日の「先生ー！」という子供たちの元気な声と、周囲の先生方の優しい声かけやサポートのおかげで乗り越えることができました。

これからも、子供たちと一緒に学び、教員としての基礎を身に付け、一人一人の子供に寄り添った指導ができるように全力で取り組んでいきたいと思ひます。

「笑顔あふれる学級を目指して」

中央小学校 教諭 藤谷 真麻



4月からの 8 か月間は、長いようであっという間でした。大変なことや不安に思うこともありますが、子供たちの元気な声や笑顔、そして周りの先生方のサポートに助けられ、楽しく充実した日々を過ごしています。これからも子供たちとともに学び合いながら、子供たちが居心地のよいと思ひえる、笑顔あふれる学級を目指して、日々精進していきたく思ひます。

「子供たちの笑顔」

桜井小学校 教諭 廣瀬 詞月



これからの教員生活に期待と「子供たちの笑顔を引き出すことができる先生になろう」という目標をもち、働き始めてから半年が過ぎました。毎日、子供たちの笑顔に元気をもらっています。毎日の楽しみは、休み時間です。「先生一緒に遊ぼうよ」とたくさんの子供たちが誘ってくれ、一緒に遊んでいます。子供たちも自分も一緒に笑顔になる時間がこれからも続くように頑張ります。

「ありがとうの気持ちを子供たちに還元したい」

桜井小学校 教諭 山田 祐加



小学校教員として新たな一歩を踏み出し、より一層、子供たちや先生方とのご縁の素晴らしさへの感謝の気持ちがこみ上げています。私が子供のとき、学校でたくさんの楽しい体験をさせていただきました。そのときの「ありがとう」の気持ちを胸に、私と同じように、学校生活で、「楽しい」「面白い」という思いを子供たちに多く感じてもらえるように、精進します。

「出会いと成長」

荻生小学校 教諭 松島 圭吾



私は、これまでたくさんの人に支えられ、出会いの中で大きく成長してきました。教師になった今は、先輩の先生方との出会いの中で教師としてのものの見方や、子供との関わり方を広め、深めることができていると実感しています。子供たちにとっても、私との出会いが心に残るものとして刻まれてほしいと願っています。これからも出会いを大切にしていって、日々努力していきます。

「共に学び、共に成長」

若栗小学校 教諭 清水 悠雅



「先生！」と呼ばれるようになってから半年が経ちました。緊張しながら話した、着任式やクラスでの挨拶が遠い昔のように感じます。何もかもが初めてばかりの毎日ですが、子供たちと過ごす日々は、せわしなくも楽しく、一日があっという間に過ぎていきます。子供たちは毎日全力で学び、時には失敗してもすぐに立ち直って挑戦しています。僕もそれを見習い、子供たちと共に学び共に成長していきたいと思っています。

「養護教諭として」

宇奈月小学校 養護教諭 橘 亜衣



養護教諭になってから、半年以上が過ぎました。何もかも分からず、不安だった初日がすでに懐かしく感じます。今も毎日が初めての連続で、悩むことも多々ありますが、子供たちの明るい姿や他愛のない会話に、私の方が元気をもらっている毎日です。そんな愛おしい子供たちが、心も体も元気に学校生活を送ることができるように、これからも養護教諭としてサポートしていきたいと思っています。

「共に学ぶ」

明峰中学校 教諭 海口 碧大



明峰中学校に着任して早半年が過ぎました。初めてづくしで戸惑うことも多く、日々奮闘中ですが、元気な生徒たちと頼れる先輩方に支えられながら、充実した毎日を送ることができています。日々成長する生徒たちに刺激を受けながら、私自身も成長していける環境に感謝しています。関わる方々から学べることを吸収しながら、生徒に還元していけるよう日々精進したいと思います。

全国学力・学習状況調査 黒部市の結果について

1 教科に関する調査の結果から（国語、算数・数学、英語）

	小学校 6 年生		中学校 3 年生		
	国語	算数	国語	数学	英語
黒部市	67%	62%	73%	53%	47%
富山県	69%	65%	71%	54%	46%
全 国	67.2%	62.5%	69.8%	51.0%	45.6%

詳しい分析につきましては、教育センターから報告書を作成して配布しますので、そちらをご覧ください。質問紙調査も抜粋して記載しています。

	全国平均よりも上回っていた点	全国平均よりも下回り課題が残る点
国語	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校ともに漢字の書き取りや敬語の使い方のような知識を問う問題 文章の要旨を把握する問題 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校とも相手の考えと比べながら自分の考えをまとめること 意見と、根拠など情報と情報の関係について理解すること
算数 数学	<ul style="list-style-type: none"> 小学校ではかけ算、足し算の計算 中学校においても、「数と式」の分野 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校ともに、図形分野に課題 グラフ、表からデータの特徴や傾向を捉えたり、分類整理したりすること
英語 (中学校)	<ul style="list-style-type: none"> 情報を正確に聞き取り、実際のコミュニケーションにおいて活用すること（リスニング） 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文を正確に読み取り、概要を捉えること

2 児童生徒質問紙調査の結果から

◎全国と比較して肯定的回答が3ポイント以上高く、前回調査よりも上がっている項目

- NO.1 朝食を毎日食べていますか。(小)
 NO.2 毎日、同じ位の時刻に寝ていますか。(中)
 NO.3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。(中)
 NO.7 将来の夢や目標を持っていますか。(中)
 NO.12 学校に行くのは楽しいと思いますか。(中)
 NO.25 今住んでいる地域の行事に参加していますか。(小)
 NO.39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。(中)
 NO.66～NO.72 中1、2年生のときに受けた英語の授業に関する質問は、すべて高かった。

△全国と比較して、肯定的回答が3ポイント以上低く、前回調査より下がっている項目

- NO.7 将来の夢や目標を持っていますか。(小)
 NO.8 人が困っているときは、進んで助けていますか。(中)
 NO.10 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。(中)
 NO.13 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。(小)
 NO.43 国語の勉強は好きですか。(小)
 NO.51,55 算数(数学)の勉強は好きですか。(小、中)
 NO.56 算数(数学)の勉強は大切だと思いますか。(中)
 NO.53,57 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか。(小、中)
 NO.58 算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。(中)
 NO.61 英語の授業の内容はよく分かりますか。(中)
 NO.62 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。(中)

3 学校質問紙の結果から (☆…アンケート結果から考察していただきたい箇所)

「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか」	黒部市	全国	全国との差
小学校 (R5)	100%	98.5%	+1.5
中学校 (R5)	100%	94.7%	+5.3

☆児童生徒の「教科の勉強は好きですか、よく分かりますか」という質問に対する肯定的意見が低くなっていることとの関連

「学校では家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか」	黒部市	全国	全国との差
小学校 (R5)	88.9%	95.7%	-6.8
中学校 (R5)	100%	90.9%	+9.1

「学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒める)取組をどの程度行いましたか」	黒部市	全国	全国との差
小学校 (R5)	100%	98.9%	+1.1
中学校 (R5)	100%	98.3%	+1.7

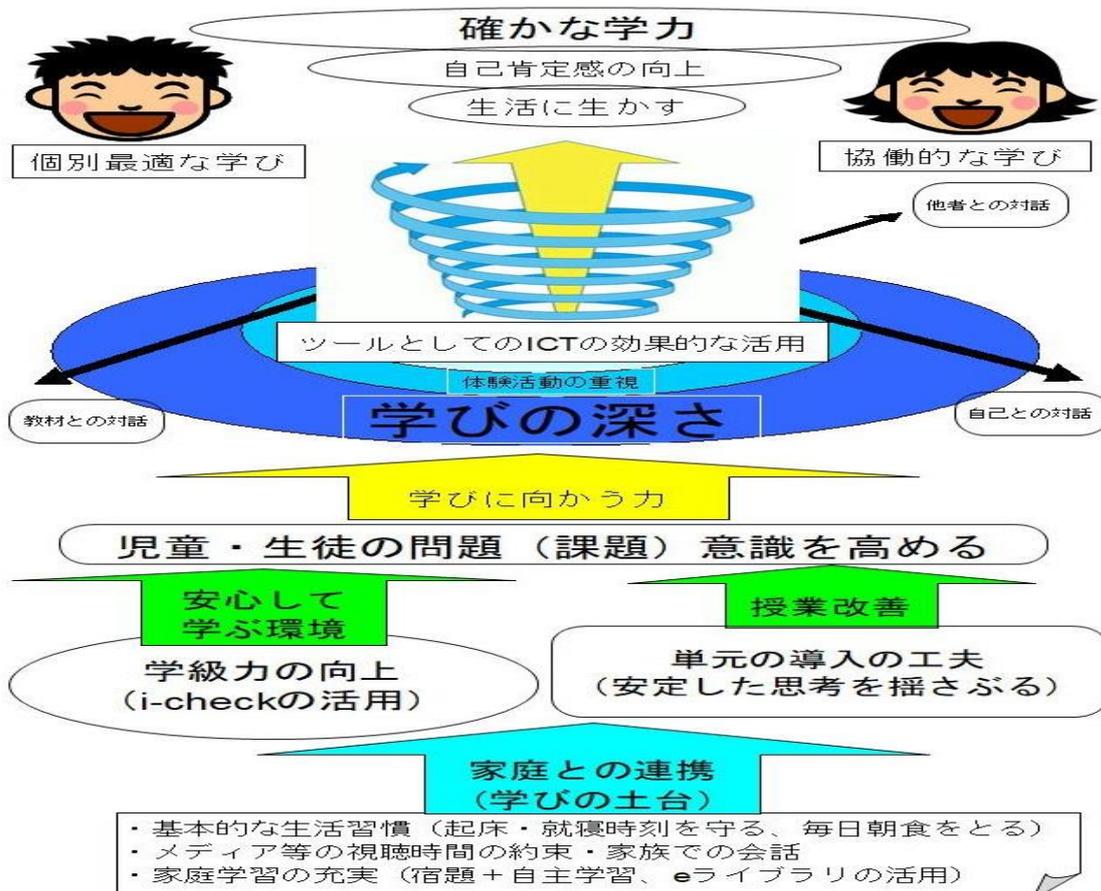
☆小中とも全国よりも高いことと No12 の回答が高いこととの関連

「児童(生徒)に対して、将来付きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか。」	黒部市	全国	全国との差
小学校 (R5)	66.7%	86.5%	-19.8
中学校 (R5)	100%	98.6%	+1.4

☆児童生徒質問紙の高い項目にも低い項目にも挙がっている No7 の回答との関連

「児童(生徒)は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか」	黒部市	全国	全国との差
小学校 (R5)	66.7%	87.6%	-20.9
中学校 (R5)	100%	95.1%	+4.9

4 改善にむけて



《教育センター夏季研修会報告》

【郷土を学ぶ研修会】

○7月28日（金）〈対象：希望者、新規採用や黒部市着任者13名〉

黒部市の自然や歴史をより理解してもらい、子供たちの指導にも役立ててもらおうという目的で行っています。今年度は北方領土史料室と四十物昆布さんでのお話を中心に研修をしました。

- ・歯舞諸島の元居住者がどんな思いで過ごされているか身にしみて共感できました。事実を知ってもらいたいとの思いを受け、生徒にも伝えていきたいです。
- ・社会科の地域教材として是非、活用したいです。
- ・四十物会長のお話が大変興味深く、熱い思いと元気でパワーをいただきました。少しでも子供たちに実りある体験をさせてあげたいと思いました。
- ・黒部は全国に誇る施設や文化があることを知りました。黒部の素敵なところを子供たちにも伝えたいです。



【特別支援教育に関する講演会（魚津地区教育センター協業事業）】

○8月3日（木）〈対象：魚津管内希望教員117名うち市内教員35名〉

「すぐに実践に結び付けられる研修を」という先生方のニーズに応え、今年度は長年、特別支援教育の現場で多くの児童生徒、事例に携わってこられた魚津市特別支援教育コーディネーター印田幸代先生、黒部市特別支援教育コーディネーター林真奈美先生のお二人に「気になる子供の理解と対応」という演題でご講話いただきました。

- ・日頃からポジティブな声かけを大切に実践していきたいです。「すごい。さすが。」といったほめる声かけや「うん、うん（うなづく）そうだよねー。」といった共感の姿勢を意識していこうと思いました。
- ・子供に柔軟に対応できるように、対応の引き出しを多く持ちたいです。
- ・子供を理解する知識を身に付け、その上で適切な支援をすることの大切さを感じました。是非校内で今日教わったことを共有していきたいです。



【道徳教育に関する講演会（魚津地区教育センター協業事業）】

○8月8日（火）〈対象：魚津管内希望教員131名うち市内教員42名〉

筑波大学附属小学校教諭 加藤宣行先生から「子供たちが本気で考え、議論を通して実生活に生きてはたらく力を育てる道徳授業」という演題で、実際の教材を使って子供の心を動かすためのポイントについて学びました。

- ・「考え、議論する道徳」が、こんなに面白いとは思わなかったです。教師の発問一つで子供の思いや考えが全く変わってくるので、実践してみたいと思いました。
- ・「一生勉強、一生青春」今後も磨き続け、輝き続けられるように努めていきたいと感じました。貴重な講演会ありがとうございました。
- ・教材を生かして、深く考えるきっかけとなる「問い」を工夫していくことが大切であると感じました。
- ・板書を生かして考えの比較ができるようにしていきたいです。



【外国語教育研修会】

○8月10日（木）相互参加型研修会

〈対象：魚津管内希望教員 27 名うち市内教員、JAT、JET23 名〉

富山大学大学院教職実践開発研究科 教授 岡崎浩幸 先生をお招き、「『聞くこと』『話すこと』から『書くこと』への流れを重視した授業」という演題でワークショップ型の講演をしていただきました。

- ・「書くこと」の学習に入る前に、まずは耳で音を何度も聞いてイメージをもたせることが大切だと分かりました。
- ・意欲を高めるためには、評価を生かしていくことが大事。「評価は通知表のためではなく、評価を使って子供を伸ばす」ということが心に残りました。
- ・岡崎先生の講演会を聴くたびに、初心に帰らされます。小中の連携、評価の意味等、大切なことを再認識させてもらえる貴重な講演でした。



【黒部市令和のとやま型教育推進事業講演会】

○8月25日（金）〈対象：推進校教員、新規採用教員、希望教員 60 名〉

東京学芸大学教育学部准教授 大村龍太郎先生をお招きし、「味わい深く学びながら資質、能力を育む～授業づくりとICT活用の考え方～」という演題でご講話いただきました。大変分かりやすく、意欲をかき立てられるお話で2学期に向けての活力になりました。

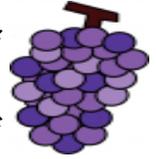
- ・「楽で楽しく効果があるからICTを使う、まずは慣れて便利だと感じること」大村先生のお話の巧みさに引き込まれました。
- ・クラウドの工夫次第で児童の対話が生まれ、自己調整の場につながりそうだと感じました。本質にせまるための方法としてのICTの利用を心掛けたいです。
- ・とにかくワクワクしました。子供たちに求める姿もこれなんだと実感できた気がします。
- ・「授業を味わう」と述べられたのが印象的。自分の授業を味わうことができるように日々努力していきたいです。
- ・職員室での雑談が大事と言われておりましたが、次につながる雑談ができるような雰囲気づくりに努めたいと思いました。
- ・味わい深く学ぶには、教材研究、子供の見方を学ぶ中で、教師も失敗しながら自己調整を繰り返していくことで実現するのだと感じました。



《研修履歴の確認と今後に向けて》

積極的に研修会に参加いただきありがとうございました。時間に比較的余裕のある夏季研修会はそれぞれに学びもたくさんあったことと思います。受講された県や市の教職員研修は、研修受講システムのマイページに記録されています。確認をされ、学びの成果や成長を振り返り、今後の課題や新しくなった県の「資質向上のための指標」を基に、来年度どんな研修を受けたらよいか展望をもっておかれるとよいと思います。

第18回 黒部市小・中学校科学作品展 最優秀賞



今年度は、市内小中学校から優秀作品52点が集まり、その中から以下の8作品が最優秀賞に選ばれました。さらに厳選された4作品が県出品となり、第82回富山県科学展覧会で賞を受けました。

(◆は県での受賞名)

○ゆびのしわしわ大はっ見!~パート2~

荻生小2年 小澤 唯花

○び生物発電の研究2

石田小4年 城石 直和

○豆苗パート6 もっと豆苗を知ろう!

◆研究努力賞 石田小6年 篠崎 葵

○ピヨヨーン!

もっと高く もっと高く とばすには

石田小6年 飛弾 陽菜

○ヨーヨーの寿命はのばせる!

~実験から見えてきた風船のしぼむ原理~

◆研究努力賞 桜井小6年 中 乃々佳

○モリアオガエルの観察パートVI

絶滅の危機!? 卵かい数と卵の発生

◆研究努力賞 若栗小6年 中西 瑠煌斗

○黒部の水 ~上流から下流の変化~

明峰中3年 本堂 珠々

○ぶどう染めパート4 FINAL

◆研究努力賞 清明中3年 橋本 拓武



第18回 黒部市少年少女発明くふう展 県での受賞



今年度も多くの作品(小学校86作品、中学校9作品)が出品されました。その中から29作品が優秀賞となり、県発明とくふう展に出品されました。

第61回富山県発明とくふう展では以下の12作品が受賞しました。

(◆は県での受賞名)

○ぼくのカップまき

◆富山県知事賞 宇奈月小2年 九里 奏多

○ペットボトルを入れても

かたよらないおべんとうエコバック

◆黒部市長賞 生地小3年 相澤 咲幸

○すばやくつ乾かすくん

◆北日本新聞社長賞

生地小5年 長谷川 恒太

○らくらく調理器具置き

◆優秀賞 桜井小5年 村山 碧

○こぼさないちりとり

◆優秀賞 石田小6年 山田 穂莉

○消費電力削減!よく冷えるエコ室外機カバー

◆優秀賞 明峰中2年 宮寺 奏和子

○エレベーターちょきんばこ

◆奨励賞 中央小1年 仁村 颯志

○ペットボトルリサイクラー4

◆奨励賞 村椿小2年 二法田 悠楓

○くっつき合うおはし

◆奨励賞 たかせ小4年 井上 桜雅

○くつ Soroetai

◆奨励賞 村椿小4年 三浦 大季

○ティッシュくしゃらんぞう

◆奨励賞 中央小4年 高村 友瀬

○ひとつできれいに筆洗い

◆奨励賞 桜井小4年 鈴木 紗矢